

「新しいわて水道ビジョン」（素案）の策定について

本県における水道事業のあり方を示した「いわて水道ビジョン」（2010年3月策定）について、水道事業を取り巻く環境の変化や水道法の改正等を踏まえ見直しすることとし「新しいわて水道ビジョン」（素案）を策定したので、その概要について報告するものである。

1 趣旨

本県では、2010年（平成22年）3月に「いわて水道ビジョン」を策定し、水道事業者と連携して水道普及率の向上や耐震化の推進等に取り組んできた。

この間、人口減少による水需要の減少や水道施設の老朽化など水道事業を取り巻く状況が大きく変化して来ている中で、国においては、平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定し、水道の基盤強化や広域連携の推進などが盛り込まれ、平成30年12月には水道法の改正が行われた。

こうしたことを踏まえ、現行のいわて水道ビジョンに基づいて、2018年度（平成30年度）の中間年度に見直し作業を進め、今般「新しいわて水道ビジョン」として策定しようとするもの。

2 策定のポイント

国が示しているガイドライン（「都道府県水道ビジョン」作成の手引き）に基づき、現状と将来の見通しを踏まえ、次の3つの視点から課題を整理し、本県水道の目指すべき方向性と実現方策を盛り込むこととした。

- ①水道サービスの持続性は確保されているか【持続】
- ②安全な水の供給は保証されているか【安全】
- ③危機管理への対応は徹底されているか【強靱】

3 計画期間

この新しいわて水道ビジョンは、40年～50年先を視野に入れつつ、10年後を目標年度とした。

○計画期間：2019年度～2028年度

○計画目標年度：2028年度

4 策定スケジュール

日 程	事 項
7月下旬～8月下旬	パブリックコメント
9月中旬	いわて水道ビジョン策定検討会（第4回） 『新しいわて水道ビジョン（案）』について検討
10月中	『新しいわて水道ビジョン』決定 9月議会（常任委員会）において策定報告
10月下旬	『新しいわて水道ビジョン』公表